

# はばたき

■発行/秋田県大仙市教育委員会 太田公民館  
TEL0187-88-1119



この QR コードから「はばたき」  
バックナンバーへ

## ・巻頭言

コロナウイルス感染拡大の勢いが止まりません。例年なら9月から10月にかけては生涯学習活動が活発になる季節。イベント中止が相次いでいますが、今できることを頑張りましょう。

## ・今月の主な活動

山登り教室 (9/12)

バドミントン大会 (9/15)

全県花だんコンクール

(9月中旬)

## 山登り教室 (8/1)



真昼山山頂を目指し  
湧き上がる雲の中をゆく

8月1日(日)、午前8時、真昼山を目指し峰越登山口からアタック。北ノ股岳を抜け午前9時20分、音動岳に到着。目的地の真昼山山頂には10時20分に到着しました。あいにくの天候のため南峰には向かわず、三輪神社奥宮で昼食休憩をとりました。

午前10時50分下山開始、午後0時50分登山口に到着。天候がすぐれず仙北平野を一望できませんでしたが尾根を駆けあがる雲の雄大さに圧倒された日でした。

参加者17名(講師4人、職員1名)

## 真木溪谷ウォーキング (8/4)



真木林道をゆく

真木溪谷は7kmも続くV字溪谷で深いところでは100mの落差があります。この雄大な自然の中で心身をリフレッシュすることを目的に、真木橋から袖川園地までの2kmを自然観察しながらゆっくりとウォーキングしました。当日は晴天となり少々暑い中でのウォーキングとなりましたが、真木溪谷の自然の豊かさに魅了された日となりました。

参加者23名(うち講師1名、職員4名)

## 全町花いっぱいコンクール (8/17)



左：敬愛館花だん、右：審査風景

1988(昭和63)年から続く全町花いっぱいコンクール。地域と家庭に花と緑を普及させ、郷土愛を醸成しようとして始められました。

今年は個人51か所、団体25か所の花だんが参加しました。

個人グランプリは後藤圭子さんが、団体グランプリは田之尻集落花だんが受賞しました。

## 『太田町史』を読む！(全12回)

### 第6回 ふるさとが戦場になった日



「戊辰の役跡」～竹村庫之丞供養碑～

角館隊の竹村庫之丞は、偵察のため国見に赴き仙台藩と遭遇し銃撃戦となります。庫之丞は銃弾を受けながらも奮戦しますが、国見統橋で壮絶な最期を遂げます。シダレザクラは、妻子が三回忌にあたり手植えしたものと伝わっています。

め、市内の角間川・花館・南檜岡・刈和野・峰吉川・福部羅・小種・境、そして国見地区が大激戦地となりました。町史502～506ページには、国見・斉内地区に残された戦跡と被害の状況を伝える史料を紹介しています。150年前、ふるさとが戦場になった日があったのです。(大仙市役所太田支所発行「地域版広報」にも掲載)

NHK大河ドラマ『青天を衝け』8月22日放送回では、前半のクライマックスともいえる戊辰戦争が丹念に描かれていました。戊辰戦争は明治新政府軍と旧幕府軍による国内戦であり、1867年1月の京都・鳥羽伏見の戦いを皮切りに、新潟・北越戦争、福島・会津戦争、そして北海道・箱館戦争が終結する翌年6月まで東日本を中心に繰り広げられました。

秋田藩は新政府軍側であり旧幕府軍に与した庄内・仙台・盛岡藩から攻め込まれ、9月26日(新暦)には横手城が落城します。秋田藩は玉川・雄物川を防衛ラインとしたため



国見地区 塞三柱神社に残る弾痕